

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWAKEN SHINRIN KUMIAI RENGOKAI

香川県森連時報

35

令和3年8月発行(第2回/1月・7月)

特集

さぬき空港公園便り

森は地球の財産です。

JForest

報告 第71回通常総会開催



令和3年5月31日（月）午前10時より本会2階会議室において、第71回通常総会が開催された。

今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年に引き続き来賓をお招きせず会員と役員のみ出席しての開催となった。

木村会長が挨拶の中で令和2年度を振り返り、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が人々の生活に多大な影響をもたらすとともに、我々の事業活動にも暗い影を落とした一年になったと述べた。

また、平成31年4月から森林経営管理制度が開始されたが、我々森林組合系統は地域の森林管理主体として積極的に取り組んでいくとともに、森林環境譲与税を地域の森林整備に有効活用するよう県や市町と連携を図らなければならないと述べ、昨年も7月に九州、中部地方を中心に大きな自然災害に見舞われ、あらためて森林の持つ公益的機能の高度発揮と森林を適切に維持管理することの重要性を痛感させられ、被害を受けられた皆様方には謹んでお見舞いを申し上げるとともに一日も早く復興されることを心から

祈念すると述べた。

令和2年度の各事業については、積極的に各部門の事業量確保に努めるとともに経費の節減に努めた結果、当初計画を上回る成果を上げることができたことを報告し、今後とも会員各位のご協力と関係機関のご支援をお願いした。

議事については、議長に井上喜代文小豆島町森林組合長が選出され、提出10議案すべて可決承認された。

引き続き役員選挙を行い、総会終了後直ちに理事会、監事会を開催し執行体制を審議した。

新執行体制は下記のとおりである。

新執行体制

代表理事会長	五所野尾恭一	理 事	宮本 欣貞
副会長 理事	佐々木 博	理 事	大西 洋造
代表理事専務	道久 工	理 事	廣瀬 辰夫
理 事	三角 正博	理 事	細谷 浩章
理 事	松浦 可稔	代表監事	大谷 徳
理 事	三宅 義明	監 事	大西 要
理 事	井上喜代文	監 事	行梅 義照

報告 高松空港に木製品を贈呈

本会と農林中央金庫高松支店によるCSR活動で、高松空港に県産ヒノキで製作したベンチを寄贈し、令和3年1月21日

（木）に贈呈式が行われた。高松空港に木製品を贈呈するのは今回2回目であり、本会の道久代表理事専務から高松空港株式会社の小幡義樹社長に目録が手渡された。贈呈式で道久代表理事専務は、「高松空港を訪れる多くの方々に香川県産の木製ベンチを利用していただき、木の持つ温もりや香りなど、木の良さを感じていただきたい。」と挨拶を行った。

本会は今後も農林中央金庫と連携して、森林の持つ多面的機能の高度発揮のために森林整備や木材を利用することの重要性をPRしていく予定である。



報告 令和2年度森林組合役員・職員研修会

令和3年2月25日（木）本会2階会議室において、県下森林組合の役員・職員を対象に、農林中央金庫高松支店中村四国営業部長を講師に迎えたコンプライアンス研修のほか人権問題研修、次期系統運動と森林組合模範定款例等の改正についての説明等を行い、多数の役職員が熱心に講義を受けた。



報告 香川県漁協青壮年部連絡協議会による地拵え作業

令和3年3月13日（土）、香川県漁協青壮年部連絡協議会による植樹活動が、公測森林公園内の県有林で行われ、本会からも職員が参加した。

これは近年における瀬戸内海の低栄養塩化による漁場環境の変化により、漁業生産の継続が危惧されていることから、香川県漁協青壮年部連絡協議会が、森林と海の相互関係を重視し、荒廃している森林を整備して広葉樹を植栽し、豊富な栄養が河川を通じて海に流れ込むよう平成25年から取り組んでいるもので、今回は広葉樹を植栽する前の地拵え作業として竹林の伐採が行われた。



我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係

- 森林そのものが様々なSDGsに貢献。さらに森林資源・森林空間の利用を通じ、様々なSDGsに貢献。
- これらの利用は、林業・木材産業を通じ、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっている。



注1：アイコンの下の文言は、期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。
 注2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。



特集 さぬき空港公園便り

本会がさぬき空港公園の指定管理に取り組みを始めて今年で10年目を迎えました。さぬき空港公園指定管理2期目の最終年度を迎えることができたのも、関係各位の多大なるご支援や、公園をご利用下さる来園者の皆様のご協力によるものと深く感謝するとともにお礼申し上げます。

昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が私たちの生活に大きな変化を与えた年でした。日本国内においても、4月の緊急事態宣言発令にはじまり、感染拡大防止のため、密閉、密集、密接の3つの「密」を避けるため、イベントの自粛、外出自粛等を余儀なくされました。当公園においても、緊急事態宣言発令に伴い、長期の臨時休園や感染防止対策の徹底、イベントの中止など、例年にない対応を行った一年となりました。

10年目という大きな節目を迎える今年は新型コロナウイルスと向き合い、感染対策により力を入れ、安心してご利用いただけるような体制を整えたいと考えております。

今年度の実績と今後の取組について報告させていただきます。

まず実績として、春の「お花見」シーズンの対応では、桜の開花が昨年に比べ5日ほど早く、満開期間は気温の上昇により3日短くなりました。来園者の方々には、自粛要請を行ったことにより、園内でのお酒を伴った宴会等を行う方はおらず、散策のみで花見を楽しみ短時間で帰られる方が多かったように感じられました。1日の最大入園者数は、昨年度に比べ30%程度の減少となりました。

昨年、臨時休園したゴールデンウィークの期間中について、今年は開園することができたものの、例年に比べ来園者数も少なく、主に県内の方にご多くご利用いただきました。

また、5月以降には新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月13日から6月1日までの全日、6月1日から6月20日までの土日の期間、グラススキー場の臨時休業を余儀なくされました。

6月27日には「緑のカーテン教室&花苗植え付け」を開催し、9名の方にご参加いただき、参加特典として参加者全員に野菜の苗や花の苗をプレゼントしました。

さぬき空港公園には約1,200本のアジサイが植栽されており、草刈りや灌水、施肥などの管理を重点的に行っていきます。将来的にさぬき空港公園がアジサイの名所となるように今後も管理、育成に力を入れてまいります。

7月3日から7日まで開催した「七夕祭り」では、グラススキー場に大きな笹を用意し、短冊に願い事を書いて頂いたほか、手持ちサイズの笹を用意して、ご来園いただいた方に笹飾りと合わせてプレゼントしました。



花苗植え付け

8月1日には、さぬき空港公園の夏の大きなイベントである「真夏の雪遊び」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止しましたが、真夏に降る雪を目当てに毎年1,000

名以上の方が来られる非常に人気の高いイベントの一つでしたので、今年は、降雪タイム8回で各10組、定員の合計80組の事前予約制にして、密にならないように感染対策を徹底した上で実施いたしました。当日は快晴で、79組、計282名の方にご参加頂き、大変好評でした。



真夏の雪遊び

しかし、取水制限の発令により「噴水イベント」は中止となり、また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響

で、8月14日から9月12日までグラススキー場・そりゲレンデの利用が休止となりました。今後のイベントに関しましても、10月まで開催を予定していた「星空展望会」「一輪車教室」「公園内スタンプラリー」も中止となりました。11月以降開催予定の「障害者ランドゴルフ交流大会」「グラススキー感謝祭」「グラススキー場中級者のためのスキー教室」などのイベントも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できるか不透明な状況ではありますが、来園者の皆様と賑わうことができるよう、公園の維持管理に努めてまいります。

公園のPR活動では、「さぬきこどもの国」「総合園芸センター」「高松空港」「香南アグリウム」等の周辺施設と連携のもと4月より周辺施設を盛り上げることを目的として「合同Instagram」の運用を始めました。また現在「高松空港周辺施設合同スタンプラリー」の開催に向け全施設協力して取り組んでおります。

最後となりますが、これからもスタッフ一同公園の適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んでまいりたいと存じますので、これまで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



緑のカーテン教室

Instagram 検索

tak_around_official

投稿37件 フォロワー224人 フォロワー中3人

TAK空港周辺施設連絡会【公式】
 公共・行政サービス
 #高松空港 #香川県園芸総合センター #香南アグリウム #さぬき空港公園 #さぬきこどもの国 の高松空港の周辺施設で構成する連絡会です。

